

十市皇女	参赴於伊勢神宮時	見波多横山巖	吹茨刀自作歌	
十市皇女の	伊勢の神宮に参赴し時に	波多の横山の巖を見て	吹茨刀自の作れる歌	
とをちのひめみこの	いせのじんぐうにまゐおもむきしときに	はたのよこやまのいはほをみて	ふきのとじのつくれるうた	
河上乃	湯津盤村二	草武左受	常丹毛冀名	常處女煮手
河の上の	ゆつ磐群に	草むさず	常にもがもな	常處女にて
かはのへの	ゆついはむらに	くさむさず	つねにもがもな	とこをとめにて
川の中の	聖なる岩に	苔が生えないように	いつもそのままに	乙女でいてほしい
万葉集 卷一 22 吹茨刀自				
<a href="https://kochi-esc.sakura.ne.jp/wordpress/%e4%b8%87%e8%91%89%e3%81%ae%e5%9c%b0%e5%ad%a6/">https://kochi-esc.sakura.ne.jp/wordpress/%e4%b8%87%e8%91%89%e3%81%ae%e5%9c%b0%e5%ad%a6/</a>				